あんしん設定

暗証番号について

FOMA 端末で利用する暗証番号について 142
端末暗証番号を変更する ..... 端末暗証番号変更 143
PIN コードを設定する 143
PIN ロックを解除する 144

携帯電話の操作や機能を制限する

各種ロック機能について 145
他の人が使用できないようにする ..... オールロック 146
おまかせロックを利用する ..... おまかせロック 146
発信や着信ができないようにする ..... セルフモード設定 147
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする ..... PIM ロック 148
ダイヤル発信を禁止する ..... ダイヤル発信制限 148
他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする ..... プライバシーモード設定 149
電話やメールの着信時に名前などを表示しないようにする ..... 着信／受信時表示設定 151
サイドキーの誤動作を防止する ..... HOLD 151
FOMA 端末を折り畳むたびにキーをロックする ..... 開閉ロック 152
シークレット属性を設定している情報を表示する ..... シークレットモード 153

発着信や送受信を制限する

指定した電話番号からの着信を許可／拒否する 154
電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する ..... 発番号なし動作設定 155
電話帳に登録していない相手からの着信をすぐに受けないようにする ..... 呼出動作開始時間設定 155
電話帳に登録していない番号からの着信を拒否する ..... メモリ登録外着信拒否 156

その他の「あんしん設定」について

電話帳お預かりサービスとは 156
その他の「あんしん設定」について 157

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

● 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「*」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

● 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
● 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
● ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
● 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P143

● 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が自動的に切れます。誤った端末暗証番号を入力した累積回数は、正しい端末暗証番号を入力したり、新たに端末暗証番号入力画面を表示したりするとクリアされます。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

●「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P188
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

PIN1コード／PIN2コード

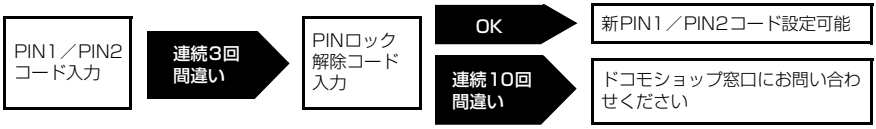
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P144
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うとき、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する暗証番号です。

● 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

● PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがロックされます。



お知らせ

- パスワードマネージャーは、端末暗証番号を「0000」以外に変更しないとご利用になれません。変更する端末暗証番号も、電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

※ 万一、第三者の不正な使用による不利益があっても、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

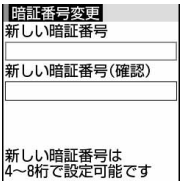
端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時　0000

1 MENU ▶ 8 4 7 ▶ 認証操作

2 新しい端末暗証番号を入力



3 新しい暗証番号（確認）の入力欄に操作2で入力した端末暗証番号を入力▶ 📖［登録］

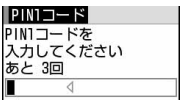
PINコードを設定する

電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうかを設定する<PIN1コードON／OFF>

ご契約時　OFF

1 MENU ▶ 8 4 6 3 ▶ 1 または 2

2 PIN1コードを入力



- PIN1コードを連続3回間違えると、PIN1コードがロックされます。●を押してPINロック解除コードを入力してください。
- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

PIN1コードON／OFFを「ON」に設定すると

FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されますが、正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

お知らせ

- アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定している場合、目覚ましやスケジュールで指定した日時になると電源が入り、PIN1コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。[電話]を押してアラームを停止させるとPIN1コード入力画面が表示されます。このとき、アラームにダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックを設定していても、お買い上げ時の設定で動作します。

PIN1／PIN2コードを変更する

ご契約時　PIN1／PIN2コード：0000

● PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」に設定する必要があります。→P143

1 [MENU]▶[8][4][6]▶[1]または[2]▶認証操作▶現在のPIN1／PIN2コードを入力

PIN1コード変更の場合

2 新しいPIN1／PIN2コードの入力欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力

3 新しいPIN1／PIN2コード（確認）の入力欄に操作2で入力したPIN1／PIN2コードを入力▶[メール]［登録］

- PIN1／PIN2コードを間違えると、認証に失敗した旨のメッセージが表示されます。[●]を押して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。連続3回間違えると、PINコードがロックされます。[●]を押してPINロック解除コードを入力してください。

お知らせ

- PIN2コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合でも電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合はそれらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1コード、PIN2コードを連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

● PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

1 PINコードロックの確認画面で「OK」を選択▶8桁のPINロック解除コードを入力

PIN1コードのロックを解除する場合

2 新しいPIN1／PIN2コードの入力欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力

3 新しいPIN1／PIN2コード（確認）の入力欄に操作2で入力したPIN1／PIN2コードを入力▶[登録]

各種ロック機能について

FOMA端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P146
おまかせロック	紛失した場合などに第三者に不正に使用されないようロックをかけます。	P146
セルフモード設定	電話の発着信、ｉモードの利用やメールの送受信、赤外線通信／iC通信などの通信機能を利用できないようにします。	P147
PIMロック	電話帳やプロフィール情報、スケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにして、情報の表示や改ざんを防ぎます。	P148
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにします。	P148
プライバシーモード設定	電話帳・履歴やメール、マイピクチャなどの表示をできなくして、他人が不正に閲覧するのを防ぎます。	P149
着信／受信時表示設定	電話帳に登録している相手からの着信時に、名前などを表示するかどうかを設定します。	P151
HOLD	FOMA端末を折り畳んだときのサイドキー［▲▼］の操作を無効にし、誤動作を防ぎます。	P151
開閉ロック	FOMA端末を折り畳むたびにサイドキー［▲▼］以外のキー操作を無効にし、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P152
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは認証操作を行ってシークレットモードを起動したときのみ表示されます。	P153
ICカードロック	ICカード機能を利用できないようにします。	P282
電源OFF時ICロック設定	FOMA端末の電源を切ったときに、すべてのICカード機能を利用できないようにします。	P283

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- シークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- おまかせロック以外のロック機能を設定していても、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロックを起動すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して[通話]を押します。
※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

● ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、ICカードロック→オールロックの順に起動してください。→P282
● microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

1 [MENU]▶[8][4][1][2]▶**認証操作**
待受画面に「オールロック中」と表示されます。
• 解除するときは待受画面で認証操作を行います。

お知らせ

• オールロック中は、テレビ電話の着信が拒否され、相手には話中音が流れます。着信履歴には不在着信として記録されます。
• オールロック中は、待受画面を設定していても、お買い上げ時の画像が表示されます。
• オールロック中は、指定した日時になっても目覚ましやスケジュールアラームは動作しません。また、開閉ロックを「ON」に設定していても、オールロックが優先されます。
• オールロックを解除し、待受画面に新着情報が表示されていても、待受画面新着通知は動作しません。
• オールロック中でも、FOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▲▼］を押すと、背面表示部にオールロック中であることを示すパターンが表示されたあとに時計が表示されます。また、ワンタッチアラームが起動できる状態のときは、FOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▲▼］を1秒以上押すと、ワンタッチアラームが起動します。
• オールロック中でも次の機能は利用できます。
- 音声電話を受ける操作※1
- おまかせロックの起動
- 電話帳お預かりサービスの自動更新
- iモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※2

※1 電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻ります。着もじは受信できますが、着信画面には表示されません。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
※2 着信時や受信時の動作はしません。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した場合などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により遠隔操作でFOMA端末にロックをかけるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを、不正に使用されないように守ります。お客様からのお申し出などによりロックを解除することができます。
※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間
※ パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

● おまかせロックのご利用方法／料金などの詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

● 電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作以外のキー操作ができなくなるほか、ICカード機能も使用することができなくなります。ただし、microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

お知らせ

- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などは、お買い上げ時の状態になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- おまかせロック中は、着もじは受信できますが着信画面には表示されません。おまかせロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
- おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- おまかせロック中でも、FOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▲▼］を押すと、背面表示部におまかせロック中であることを示すパターンが表示されたあとに時計が表示されます。
- 他の機能が起動中におまかせロックを起動した場合は、起動中の各機能を終了します（編集中のデータがあるときには、編集中のデータを保存せずに、終了する場合があります）。
- 各種ロック機能を設定中でも、おまかせロックが優先されます。
- FOMA端末を紛失したときに電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中は、おまかせロックがかかりません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合はおまかせロックがかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者本人からのお申し出によりロックをかけるサービスのため、ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックは、お客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード設定　MENU 858

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時　OFF

セルフモード中は、電話の発着信、ｉモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能が使えなくなります。また、読み取り機からのトルカ取得や赤外線通信／iC通信、赤外線リモコン、パソコンと接続したデータ送受信も利用できません。

1 「ch CLR」（1秒以上）▶「はい」を選択

待受画面に「self」が表示されます。

- 解除するときは「ch CLR」を1秒以上押し、「はい」を選択します。

お知らせ

- セルフモード中に電話がかかってきたときは、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中に受信したｉモードメールやメッセージR/Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問合せ、SMS問合せを行ってください。
- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。

PIMロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時　OFF

個人情報の表示や改ざんを防げます。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、本機能は起動できません。
- PIMロック中の発着信は記録されます。リダイヤルや着信履歴からの発信はできます。

1 MENU ▶ 8 4 1 3 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

「ON」に設定すると待受画面に が表示されます。

PIMロックを起動すると

次の操作（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。ただし、microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

- 待受画面新着通知
- メール※1
- チャットメール※1
- SMS※1
- メッセージR/F※1
- iモード※1
- iモード問合せ※1
- iチャネル
- iアプリ
- 電話帳
- 伝言メモ／音声メモ（動画メモ）
- メール送受信履歴※2
- メモリ着信拒否／許可
- 発番号なし動作設定
- メモリ登録外着信拒否
- 電話帳お預かりサービス
- マイピクチャ
- ミュージック
- iモーション
- メロディ
- キャラ電
- コーディネイト／きせかえ
- 電話発着信設定
- テレビ電話発信設定
- テレビ電話着信設定
- テレビ電話画像選択
- 静止画撮影
- 動画撮影
- サウンドレコーダー
- バーコードリーダー
- ミュージックプレイヤー
- microSD
- トルカ
- ICカード一覧
- スケジュール帳
- 通話料金上限通知
- メモ帳
- イヤホンスイッチ設定（イヤホンスイッチ発信）
- 目覚まし
- 着もじ※3
- ソフトウェア更新
- プロフィール情報
- 各種設定リセット
- データー括削除
- スキャン機能
- 赤外線通信／iC通信によるデータ送受信
- USB接続によるデータ送受信

※1 自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メール送受信履歴からのメール作成はできません。

※2 電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、メールアドレスが表示されます。

※3 受信できますが、着信画面には表示されません。PIMロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

お知らせ

- 電話帳に登録している相手の電話発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号が表示されます。
- 伝言メモ起動中でも伝言メモが動作しないため、待受画面に は表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。
- PIMロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、PIMロック中はお買い上げ時の状態に戻ります（メニュー設定のノーマルが「きせかえツールに従う」に設定されている場合は、タイルアイコンになります）。PIMロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定は変更されません。
- PIMロック中のテレビ電話の代替画像は標準画像（カメラオフ画像）になります。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時　OFF

電話帳から発信する方法以外の電話の発信を禁止します。

1 MENU ▶ 8 4 1 5 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

「ON」に設定すると待受画面に が表示されます。

ダイヤル発信制限を起動すると

次の操作ができなくなります。

- リダイヤル※や着信履歴からの発信
- 電話帳の修正、登録、削除、グループ設定
- プロフィール情報の修正、リセット
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- 外部機器との電話帳データやプロフィール情報の送受信
- メールやチャットメール※
- SMSの送信※
- メール送受信履歴からの送信※
- テンプレート読込み
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- パソコンとつないだパケット通信

※ 電話帳に登録している相手への発信や送信はできます。

プライバシーモード設定

他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする

FOMA端末の電話帳、メール、マイピクチャなどを他人が利用できないように設定します。

プライバシーモードの動作を設定する

お買い上げ時　電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリ：表示する　自動起動：OFF

電話帳、メール、マイピクチャなどを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

● プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。自動的に起動するようにも設定できます。

1 MENU ▶ 8 4 2 ▶ **認証操作** ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ 📖 ▶ **「OK」を選択**

電話帳・履歴：電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを表示するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

メール：メールやメール送受信履歴を表示するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されなくなりますが、各フォルダー一覧画面で chCLR を1秒以上押して認証操作を行うと、待受画面に戻るまで一時的にフォルダを表示できます。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

ｉモーション：ｉモーションを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

スケジュール：スケジュールを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

ｉアプリ：ｉアプリを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

自動起動：待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。「OFF」「操作なし5分後」「操作なし15分後」「操作なし30分後」から選択します。

プライバシーモードを手動で起動する

1 🔒（1秒以上）

- 解除するときは🔒を1秒以上押し、認証操作を行います。

お知らせ

- 自動起動以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動しません。すでにプライバシーモードを起動していた場合には、自動的に解除されます。
- プライバシーモード中、設定した内容により次のような制限があります。

項目：設定内容	制　限
iアプリ以外：認証後に表示	• 利用できないiアプリ（メールを「認証後に表示」に設定した場合を除く）またはiアプリDXがあります。
電話帳・履歴またはメール：認証後に表示	• 待受画面に新着情報が表示されていても、待受画面新着通知は動作しません。
電話帳・履歴：認証後に表示	• 待受画面新着通知を設定する場合は、認証操作が必要です。 • 発着信時に電話帳に登録している名前や画像は表示されず、電話番号またはメールアドレスが表示されます。電話帳に設定している着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像なども動作せず、FOMA端末の設定に従って動作します。また、電話帳に登録されている相手からの着信でも、呼出動作開始時間設定が動作します。 • メールやメールグループ設定、メール送受信履歴などでは、電話帳に登録している名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。 • ワンショットメールで、通話中の相手のメールアドレスを電話帳に登録していても、相手のメールアドレスは宛先に入力されません。 • スケジュール帳のメンバーリスト一覧で、メンバーの名前と詳細情報が、「*」で表示されます。 • セレクトメニューで人物の選択ができません。アイコンが に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
メール：認証後に表示	• 電話帳やスケジュール帳からメールを検索したり、メール連動型iアプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をしたりする場合は、認証操作が必要です。
メール：指定フォルダを非表示	• メール振り分け設定により、プライバシーを「ON」に設定したフォルダに振り分けられるメールを受信した場合、画面や着信音でのお知らせをしません。プライバシーモードを解除すると、新着情報があることを確認できます。 • メール連動型iアプリをダウンロードし、メール連動型iアプリに対応した受信メールがすでにFOMA端末に保存されていても、自動的に作成されたフォルダに受信メールを振り分けられません。
マイピクチャまたはiモーション：認証後に表示	• 着信音や発着信画像に「プリインストール」フォルダ以外の音や画像を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。ただし、「プリインストール」フォルダの音や画像を設定している機能がある場合は、着信音や発着信画像の優先順位に従って動作します。 • 待受画面に「プリインストール」フォルダ以外の画像を設定している場合は、プライバシーモード中でも設定した画像や動画／iモーションが表示されます。画像をランダムに表示するように設定している場合も同様です。 • 各機能の設定でマイピクチャまたはiモーションのデータを利用する場合は、認証操作が必要です。また、機能によっては非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。
マイピクチャ：認証後に表示	• スケジュールに「プリインストール」フォルダ以外の画像を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。 • 静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねて撮影できません。 • FOMA端末電話帳のデータをmicroSDメモリーカードにコピー、バックアップした場合、FOMA端末電話帳に設定された静止画はコピー、バックアップされません。
iモーション：認証後に表示	• 目覚ましやスケジュールに「プリインストール」フォルダ以外の動画／iモーションを設定している場合は、アラーム音の目覚まし音やスケジュール音の設定で動作します。これらの設定でも「プリインストール」フォルダ以外の動画／iモーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。 • 動画を撮影した直後のテロップ編集はできません。
スケジュール：認証後に表示	• 待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールが設定されていることを示す日付の右上の赤いマークは表示されません。また、休日設定で休日にした日は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
iアプリ：認証後に表示	• メール連動型iアプリ用のメールフォルダを選択したり、iアプリをダウンロードしたりする場合は、認証操作が必要です。 • 待受画面設定でiアプリを待受画面に設定する場合は、認証操作が必要です。また、非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

・プライバシーモードの設定によっては、プライバシーモード中にｉアプリからメールやスケジュールを利用したり、マイピクチャにデータを保存したりすると、指定された機能が実行できない旨のメッセージが表示される場合があります。
・プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した機能を利用するときは、一度認証操作を行うと待受画面に戻るまで認証操作は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の機能を利用する場合も同様です。
〈例〉プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合）にマイピクチャに保存している画像をメールで送信する場合、マイピクチャを表示するときに認証操作を行うため、メール作成画面で電話帳を表示するときは、認証操作は不要です。

着信／受信時表示設定

電話やメールの着信時に名前などを表示しないようにする

お買い上げ時　電話着信時表示、メール受信時表示：プライバシーモードに従う

電話帳に登録している相手からの着信時に、名前などを表示するかどうかを設定します。

● PIMロックの設定よりも本機能の設定が優先されます。

1 MENU ▶ 8 4 4 ▶ 認証操作 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖 [登録]

電話着信時表示　：音声電話やテレビ電話着信時に名前と電話番号を表示するかどうかを設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモードの電話帳・履歴が「認証後に表示」に設定されている場合、プライバシーモードを起動すると名前は表示されません。
- 「電話番号＋名前」に設定すると、音声電話やテレビ電話の着信時は、電話番号と名前を表示します。

メール受信時表示：メール受信時の受信結果の表示方法を設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモードの電話帳・履歴が「認証後に表示」に設定されている場合、プライバシーモードを起動すると名前は表示されません。また、プライバシーモードのメールが「認証後に表示」に設定されている場合、受信結果テロップにはメールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。
- 「受信通知のみ」に設定すると、受信結果テロップにはメールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。
- 「テロップなし」に設定すると、受信結果テロップは表示されません。

お知らせ

・シークレットモードを起動していない場合にシークレット属性を設定している相手からの着信があったときは、本設定で名前を表示するように設定していても、電話番号が表示されます。

HOLD

サイドキーの誤動作を防止する

FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▲▼］の操作を無効にし、かばんなどに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

1 MENU（1秒以上）

待受画面に 🔒 が表示されます。
- 解除するときはMENUを1秒以上押します。

お知らせ

・HOLD中でも、クイック伝言メモの起動、着信音の停止、着信中のバイブレータの停止はできます。
・HOLD中でも、FOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▲▼］を押すと、背面表示部にHOLD中であることを示すパターンが表示されたあとに時計が表示されます。また、ワンタッチアラームが起動できる状態のときは、FOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▲▼］を1秒以上押すと、ワンタッチアラームが起動します。

開閉ロック

FOMA端末を折り畳むたびにキーをロックする

開閉ロックを「ON」に設定しておくと、FOMA端末を折り畳んだときにサイドキー［▲▼］以外のキーがロックされます。解除しても開くたびに認証操作が必要なので、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。開閉ロック中でも、かかってきた電話を受ける操作や電源を切る操作はできます。

開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面または待受画面、開閉ロック中画面で緊急通報番号を入力して［通話］を押します。
※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

● FOMA端末が次の状態の場合は、開閉ロックがかかりません。
- 通話中※
- メロディ再生中※
- ミュージックプレイヤー起動中
- お知らせタイマー、目覚まし、ワンタッチアラーム、スケジュールアラーム鳴動中（スヌーズ中、停止中、カウントダウン中を含む）
- リラックスモードプラス再生中※
- 赤外線通信／iC通信中
- ソフトウェア更新中

※ FOMA端末を折り畳んでいる状態で動作が終了した場合は、開閉ロックがかかります。

開閉ロックを「ON」に設定する

お買い上げ時　開閉ロック：OFF

1 ［メニュー］▶［8］［4］［1］［1］▶認証操作▶下記の各項目を選択して設定▶［登録］［登録］

開閉ロック　：開閉ロックを自動起動するかどうかを設定します。
ロック起動時間：FOMA端末を折り畳んでから自動起動するまでの時間を「閉じた直後」「閉じてから5秒後」「閉じてから15秒後」「閉じてから1分後」のいずれかに設定します。

開閉ロックが起動すると

FOMA端末を折り畳むたびに、ロック起動時間で設定した時間に従って開閉ロックが起動し、サイドキー［▲▼］以外のキーがロックされます。ただし、サイドキー［▲］を押しても伝言メモ、音声メモ、動画メモは動作しません。

● 解除するときは、FOMA端末を開いて認証操作を行います。次の画面が表示されたときは、端末暗証番号を直接入力するか、［メニュー］または［MULTI］を押して認証操作を行います。

■ 待受画面で開閉ロックを起動した場合の待受画面

■待受画面以外で開閉ロックを起動した場合の開閉ロック中画面

お知らせ

- 開閉ロック中でも、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して電話をかけられます。
- 開閉ロックを「ON」に設定しているときに電源を入れ直すと、開閉ロックが起動します。また、おまかせロックが起動したときは、おまかせロックを解除した後に開閉ロックが起動します。
- 開閉ロック中でも次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作
  - 電話帳お預かりサービスの自動更新
  - 待受カスタマイズの表示と非表示の切り替え操作
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※
  - おまかせロックの起動
  - 読み取り機からのトルカの取得

※ 受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

開閉ロックの起動をランプで知らせる＜セキュリティランプ設定＞

お買い上げ時　ON

開閉ロックの状態を背面表示部と中央ランプでお知らせするかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 8 4 3 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

セキュリティランプを設定すると

FOMA端末を折り畳むと、背面表示部に「ON」が表示され、中央ランプが青色で約3秒間点滅します。また、中央ランプが赤色で約3秒間点滅したときは、開閉ロックが起動しなかったことを示します。

● 開閉ロックのロック起動時間で「閉じてから5秒後」「閉じてから15秒後」「閉じてから1分後」のいずれかに設定している場合、FOMA端末を折り畳むと中央ランプが赤色で約3秒間点滅し、設定した時間になると背面表示部に「ON」が表示され、中央ランプが青色で約3秒間点滅して、開閉ロックが起動したことをお知らせします。

シークレットモード

シークレット属性を設定している情報を表示する

シークレットモードを起動すると、シークレット属性を設定している電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にも、シークレットモードを起動する必要があります。

シークレットモードを起動する

1 MENU ▶ 8 4 5 ▶ 認証操作

ディスプレイ上部に🔑が表示されます。

- 解除するときは待受画面で📞を押します。

お知らせ

- シークレット属性を設定している相手から着信やメールの受信があったときは、シークレットモード中のみ電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。また、待受画面新着通知の設定はお買い上げ時の状態になります。
- シークレットモード中は、GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。[☎]を押すとシークレットモードが解除され、再生されます。

指定した電話番号からの着信を許可／拒否する

FOMA端末電話帳に登録している電話番号ごとに、着信の許可／拒否を設定します。

● 本機能を利用するには、電話番号ごとの着信許可／拒否の設定と、メモリ別着信拒否／許可の設定をする必要があります。設定項目と着信の許可／拒否の動作は次のとおりです。

設　定		電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
		着信許可	着信拒否	設定なし
メモリ別着信拒否／許可設定	設定解除	着信する	着信する	着信する
	拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
	許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※

※ 設定した電話番号から電話がかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手側には話中音が流れます。

● 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
● 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
● 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
● 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

着信を許可／拒否する電話番号を指定する＜着信許可／拒否設定＞

お買い上げ時　設定なし

FOMA端末電話帳に登録している電話番号に対して、着信許可／拒否を設定します。

1 [📖]▶**電話帳を検索**▶**設定する電話帳データにカーソルを合わせて**[MENU]▶[3][4][3]

2 **認証操作**▶**電話番号を選択**▶[1]～[3]

- 着信許可／拒否を設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に[!]が表示されます。
- 指定した電話番号からの着信許可／拒否をするには、続けてメモリ別着信拒否／許可の設定を有効にしてください。

お知らせ

- 着信許可／拒否を設定している電話番号を変更または削除すると、本機能の設定は解除されます。その場合は、変更または登録後の電話番号に対して着信許可／拒否を設定してください。

着信許可／拒否設定を有効にする＜メモリ別着信拒否／許可＞

お買い上げ時　設定解除

● 本機能の設定は着信許可／拒否を設定したすべての電話番号が対象になります。
● 拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。

1 [MENU]▶[8][5][5][1]▶**認証操作**▶[1]～[3]

お知らせ

- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- 着信許可を設定した電話帳データがない場合に許可設定を選択すると、すべての着信を拒否する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、すべての着信を拒否するように設定されます。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

発番号なし動作設定　MENU 81113/82526

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

お買い上げ時　［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

● 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本機能の設定が優先されます。

1 MENU ▶ 8 5 2 ▶ 認証操作

2 1 ～ 3 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］

- 通知されない理由ごとに操作2を繰り返します。

（着信動作）：発信者番号が通知されない電話の着信があったときの動作を設定します。
- 「設定解除」に設定すると、それぞれの着信音の設定に従って着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」に設定すると、相手からの着信を拒否します。
- 「着信音OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「メロディ」に設定したときは、メロディを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「着モーション」に設定したときは、動画／iモーションを選択します。
- 「ミュージック」を設定したときは、音楽データを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
  ミュージックの設定→P111

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「iモーション」を選択したときは、動画一覧から動画／iモーションを選択します。

イメージ一覧：イメージ表示で「イメージ」を選択したときは、イメージ一覧欄を選択して画像を設定します。

お知らせ

- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に不在着信として記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話の着信があった場合は、「着信拒否」に設定しているときのみ動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、それぞれの着信音や着信画像の設定に従って動作します。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手からの着信をすぐに受けないようにする

お買い上げ時　着信呼出動作：OFF

● 「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。
● メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

1 MENU ▶ 8 1 5 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］

着信呼出動作　：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1～99秒の範囲で設定します。
時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたときは、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。
- PIMロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳に登録している相手からの着信でも本機能が動作します。
- シークレットモード中ではない場合に、電話帳にシークレット属性を設定している相手から電話がかかってきたときも、本機能が動作します。

お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスが設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - 公共モード　- 伝言メモ　- 留守番電話サービス　- 転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりもそれらの動作が優先されます。
- 呼出開始時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録していない番号からの着信を拒否する

お買い上げ時　OFF

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- PIMロック中や呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定しているときは、本機能は設定できません。

1 MENU ▶ 8 5 5 2 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

メモリ登録外着信拒否を設定すると

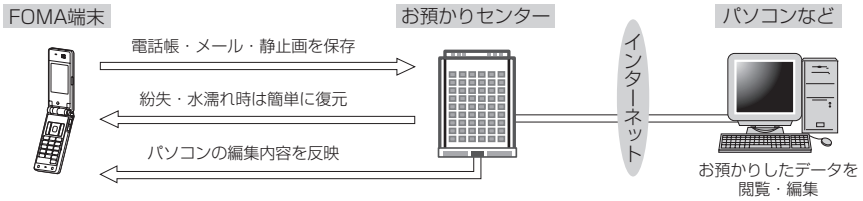
電話帳に登録していない相手から電話やテレビ電話がかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 電話帳に登録している相手でも発信者番号を通知しないで電話をかけてきたとき、またはシークレットモード中ではない場合にシークレット属性を設定している相手から着信があったときも、着信を拒否します。また、公衆電話や発信者番号を通知しないで発信した電話からの着信があった場合の動作は、発番号なし動作設定よりも本機能の設定が優先されます。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービスとは

FOMA端末に保存している電話帳やメール、静止画（以降、保存データ）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。万一紛失や水濡れなどでFOMA端末に保存したデータが消失しても、iモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元できます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのサイトで編集したり、編集した保存データをFOMA端末に保存したりできます。

● 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細は、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。



※ 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

● 電話帳・メール・静止画をお預かりセンターに保存／復元する操作方法については、各ページを参照してください。
電話帳→P102、P105　　メール→P233　　静止画→P292

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。

目　的	機能・サービスの名称	参照先
ICカード機能を利用できないようにします。	ICカードロック	P282
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P388
発信者番号を通知してこない電話を受けません。	番号通知お願いサービス	P389
電子認証サービスを利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応サイトに限ります）。	FirstPass	P185 P202
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P452
障害を引き起こす可能性のあるデータを削除したり、アプリケーションの起動を中止したりして、FOMA端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P455
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信します。	メール選択受信	P242
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認します。	「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
メールアドレスを変更／確認します。	アドレス変更／確認	
URLが記載されたメールを受信しません。	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールのみを受信／拒否します。	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールのみ受信／拒否します。		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。		
すべてのSMSまたはSMSの種類を指定して受信を拒否します。	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
1日に1台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールサイズを制限します。	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認します。	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	

お知らせ

- 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。特に、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。
- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は次のとおりです。
  ① 迷惑電話ストップサービス
  ② メモリ登録外着信拒否または呼出動作開始時間設定、発番号なし動作設定、メモリ別着信拒否／許可